

- ## 取組み
- 子どもの心を引きつけ、心に響かせる資料提示
 - 中心発問、自己の振り返り等での道徳ノートの活用
 - 道徳の時間の学びと日常生活をつなげる掲示

成果と課題

- 道徳的価値の自覚が深まる話し合い
- 道徳的価値の日常生活の中での意識の継続
- 話し合いを充実するための授業力向上
- 道徳ノートの日常的な活用

研究の概要

研究仮説

『子ども一人ひとりが、自分なりの考えをもち、伝え合う活動を大切に、仲間とともにかかわり合いながら協同的な学びをしていけば、心を開き、互いに学び合い、高い道徳的価値にせまろうとする子どもが育つであろう。』

研究の概要

全教育活動での取組み



研究の概要

総合単元的な道徳学習の時間の構想図の作成

- 1 ねらう価値に沿ったためあての設定
- 2 常時活動・家庭との連携
- 3 子どもの意識の流れがとぎれない組み立て

研究の概要

総合単元的な道徳学習の充実

道徳と教科、総合的な学習の時間、特別活動との関連表

研究の概要

総合単元的な道徳学習の研究の取組み

- 1 道徳の時間の協同的な学びの充実
- 2 道徳環境の整備（美的情操の育成）
- 3 家庭や地域との連携による道徳教育の推進



研究の概要

総合単元的な道徳学習の充実

教科	道徳の時間	特別活動の時間 総合的な学習の時間等	常時活動	言葉の成れ
①④⑤ <体育> 6月～9月 「組体操」 ねらい 2-② 組体操の練習を通して、自分の責任を果たし、次だちのがんばりを応援し、協力して目標達成をすることができる。	② (主題 真心をもって) 2-① 6月 資料名「あいさつの言葉」 ねらい 川崎さんの体験を通して、時と場合を考えて、礼儀正しく真心をもって接しようとする心構えを育てる。	③ <学級活動> 6月 「生活の問題を考えよ」 生活の中での悩み等を出し合い、学級の仲間がより仲よく生活できる方法を考える。	「体たたくし」 朝の会、昼の会、夕の会、放課後の会、家庭との連携 「体たたくし」は、日々の生活の中で、自分や他人の安全や健康を守るために必要不可欠な活動である。	①体育祭に向けて自分の責任をやりきる。 ②「ありがとう」「ごめん」など真心をもって言えることが大切なんだね。
6年生 資料名「組体操」2-(4)謙虚・寛容	「ささえ」 道徳ノート 児童の意識の変容の見取り			

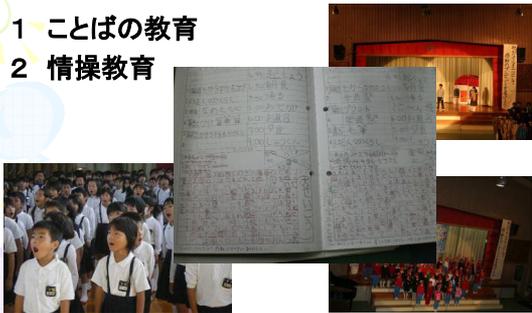
研究の概要

総合単元的な道徳学習の充実



本校の特色

- 1 ことばの教育
- 2 情操教育



(1) ことばの教育

三種類のノート

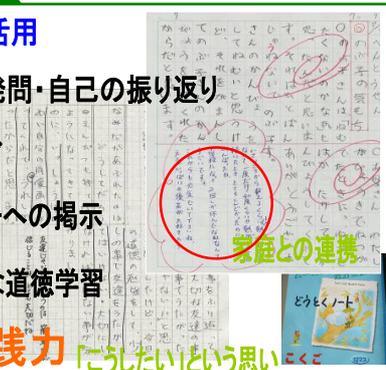


(1) ことばの教育

道徳ノートの活用

- 導入・中心発問・自己の振り返り
- 家庭とつなぐ
- 道徳コーナーへの掲示
- 総合単元的な道徳学習

道徳的実践力 「こうしたい」という思い



(1) ことばの教育

「心のノート」の活用

- 「まとめ」とする
- 考えるきっかけとする
- 校舎内に掲示する



(1) ことばの教育

「ささえ(毎日日記)」の活用

自分の成長のみとり

自分の考えを整理する

自分を振り返る

道徳的価値を自分とのかかわりてとらえる

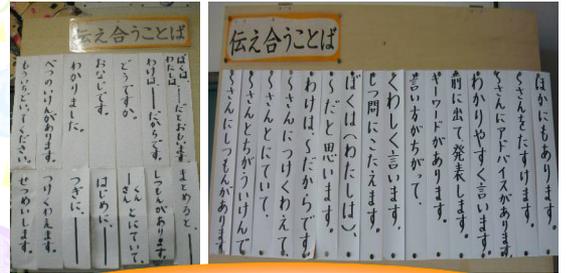
自分自身の成長を見つめる



(1) ことばの教育

伝え合うことば

友だちの発言につなぐ言葉を使う



かわり合いながら道徳的価値を深める

(2) 情操教育

音楽活動

全校での音楽合唱

ひとつに響き合う歌声



6年生:学年合唱

33rd 神辺音楽祭



自分たちの思いを歌の心に

(2) 情操教育

音楽活動

4年生:琴を中心とした合唱奏



一緒に合奏するとたのしい



5, 6年生:吹奏楽

(2) 情操教育

音楽活動

最後までやりきり、創り上げる達成感

合わせる喜び

敬老会

感動する心

ふくやまJMF



(2) 情操教育

校内掲示

道徳の時間の学びを掲示

道徳コーナー

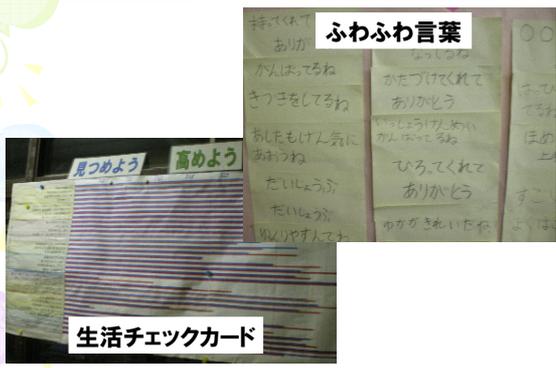
「ちとなかよく」



学びを生活につなげる

だれとでも、なかよく協力して学校生活を楽しくすごす子ども

(2) 情操教育 校内掲示



(2) 情操教育 掲示

児童の作品を掲示



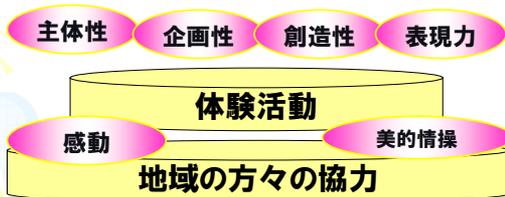
(2) 情操教育 日常生活とのつながり



(2) 情操教育 地域とのかかわり

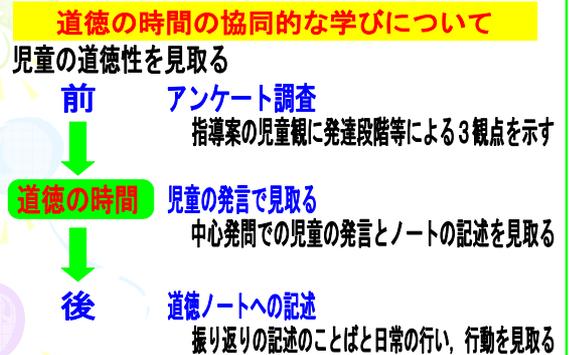


(2) 情操教育



道徳性の育成
感動のプレゼント

成果と課題



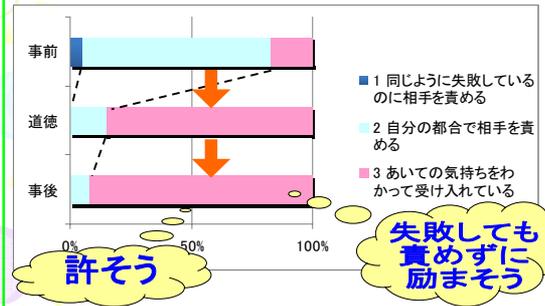
成果と課題

成果

- 1 総合単元的な道徳学習を進めることで、道徳の時間に学習したことを意識して行動する児童が増えた。
- 2 情操教育の充実により、自己肯定感を高められた。

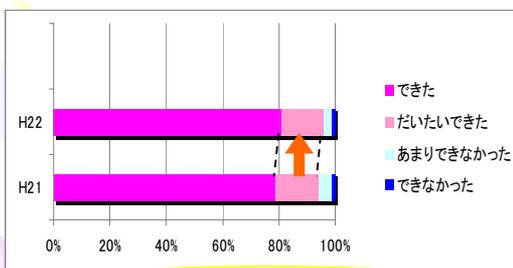
成果と課題

6年 資料名「組体操」2-(4)謙虚・寛容



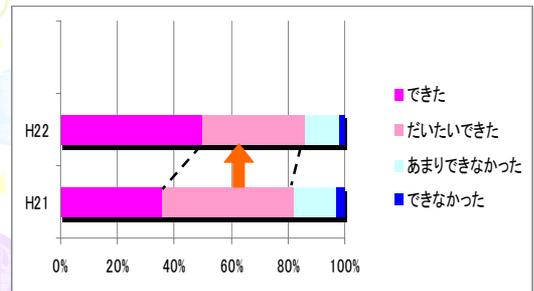
成果と課題

音楽活動で、目標を持ってがんばった



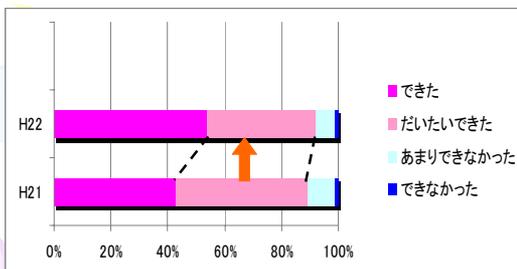
成果と課題

困ったとき、解決するために言葉を使う



成果と課題

自分の思いをわかりやすく伝える



今後の重点的な取組み

課題

- 言葉をつないで相手としっかりコミュニケーションをとること
- 協同的な学びをより深く追求していくこと

今後の取組み

- 1 自分の考えをよりわかりやすく伝えられる方法を日常的に取り組んでいく。
- 2 道徳の時間で学んだことを生かしていくことを生活の中で意識させ、自己肯定感を高めていく。

